

## 町長行政報告

### 1. JR江差線（木古内・江差間）対策協議会と函館バス株式会社との覚書締結について

平成25年11月29日、JR江差線対策協議会が開催され、JR江差線廃止後の「代替バス運行に関する基本方針、実施計画」の協議が行われ、バス事業者や運行形態を始め、平成26年5月の運行開始に向けてた運行計画が正式に決定しました。

協議会では、引き続き函館バス株式会社との間で「代替バス運行に関する覚書」の

締結が行われ、運行路線、補助の対象、維持費の負担、並びに車両購入費用などに関して、事業者、構成自治体双方が確認しました。

今後は、平成26年5月12日の運行開始に向けて、運行時刻表、運賃の決定、及び留所設置などの準備を進めていきます。

### 2. 道営住宅整備について

平成25年11月15日、北海道住宅対策審議会（※）が開催され、道営住宅新設候補地を、北海道新幹線の駅が新設される「北斗と木古内」並びに北海道横断自動車道延伸でインターチェンジができる「余市」の3自治体が妥当とする意見がまとまり公表されました。

選考された主な理由としては、「北斗と木古内」は北海道新幹線開業に向けた駅周辺整備に多額の投資をしていることなどから、住宅整備には北海道の支援が必要であること、また、木古内町においては、町営住宅の約6割以上が耐用年数の2分の1を超えていることや、新幹線時代にファミリー世帯向けの住宅が必要であると判断されたと伺っています。

整備戸数、事業スケジュールなどの協議を重ね、平成26年6月を目標に具体案のとりまとめ作業を進めています。

（※）北海道総合開発の促進及び民生安定に寄与する住宅対策の確立とその強力な推進を図るため、知事の附属機関として設置しています。

### 3. 火災出動について

平成25年12月14日午前3時22分、建川地区の住民から近くの小屋が燃えていると通報を受け、消防車を出動させたところ納屋が燃えており、現場状況から全消防団に招集を要請し、消火活動を行った結果、午前5時40分に鎮火しました。

本火災により、飼料用納屋1棟192㎡（約60坪）が全焼いたしました。けが人はありませんでした。

また、原因、損害額等は調査中です。

なお、本火災に伴う出動人員等は、消防車両9台、消防職員21名、消防団員43名でした。

同

意



●木古内町表彰条例に基づき、中村孝幸さんが自治功労者に推薦され満場一致で同意されました。

総務・経済常任委員会  
3月定例会までの調査事項

町民税務課

・危険家屋の現状と課題  
について（継続）

まちづくり新幹線課

・第6次木古内町振興計  
画について（継続）

・観光交流センター（仮  
称）について（継続）

産業経済課

・はこだて和牛ブランド  
化推進事業について  
（継続）

・観光おみやげ品開発支  
援事業について（継続）

・駅前景観統一事業につ  
いて（継続）

教育委員会

・学校給食費について